

6月は、いじめや身の回りの問題を見直し、みんなが楽しく学校に来られるようにするためのふれあい月間でした。いやなことや心配なことがあるとき、自分の気持ちを抑えられないとき、誰かを傷つけるやり方では、解決できません。3年生から6年生まで、よく感想を書いてくれました。みんなでいい解決の仕方を考えていきましょう。

<朝会で話した主な内容> テーマ：「ならぬことはならぬものです」

校長先生は、どんな理由があっても決していじめをしてはいけないと4月に話しました。皆さんは、友達を傷ついたり、絶対に使ってはいけない言葉を使わないように気を付けていますか。

いじめの中で一番多いのは、冷やかしかからかいなどの言葉によるいじめです。たとえ、相手のすることが気に入らないことであっても、できないことを責めたり、悪口を言ったり、紙や机、壁などに嫌なことを書いたりしないでほしいのです。気になることがあるなら、傷つける言葉でなく、相手の気持ちを考えながら分かるように伝えることです。悪口を言う人がいたら、悪口はよくないことだと教えてあげてほしいのです。

いじめを受けた人は、学校に行きたくないと思ったり、死にたいくらいつらかったり、眠れなくなったりして、体の調子が悪くなるそうです。皆さん一人一人が、言葉によるいじめや乱暴をしないように気を付けたら、学校はもっと楽しい場所になると思いませんか。

現在の福島県、江戸時代の会津藩では、子供たちが10人くらいのグループをつくり、年上の人から「什の掟（じゅうのおきて）」という心構えを教わって、守るように努力したそうです。その中には、「うそを言うことはなりませぬ」、「ひきょうなふるまいをしてはなりませぬ」、「弱い者をいじ（ぢ）めてはなりませぬ」があり、最後に「ならぬことはならぬものです」と子供たちでいましめ合いました。人として絶対にやってはいけないことがあるのです。皆さんも、このことを心に留めて、毎日を過ごしてほしいと思います。

<感想>

- 1 いじめをすると命に関わってしまうというのが改めて考えさせられました。しないことはもちろん、させてはいけないと思いました。
- 2 言葉のいじめが一番心に残りました。普通の会話だと自分が思っている、その人にとってはいじめに感じるかもしれないと思いました。これからは、相手のことをこれまで以上に考えて会話しようと思いました。
- 3 暴力が理由で自殺する人が多いと思ったけど、一番いじめで多いのは言葉だと知って、もっと言葉に気を付けようと思いました。みんなで、おきてを決めて、守るのはすごいなと思いました。
- 4 「あの子はきらい」と思うと、人は、その人の悪いところばかりを見つけてしまいます。どの人もみんな、1つはいいところを見つけられると、いじめをなくす第1歩になると思います。
- 5 陰口や悪口を書くことは、その子が嫌いと言うことになる。嫌いにならなければ、いじめすべてがなくなる。
- 6 いじめで一番多いのは悪口と聞いて、ぼくもすぐ思いついたら言うってしまうので直しているのだけど、なかなか直せないから、ちょっと考えて言うようにする。
- 7 みんな、いじめはだめ！！と言っているのに、どうしてやっちゃうんだろうと思いました。ぼくは、改めてやらないと思いました。
- 8 まず、この学校からいじめをなくしたいと思い、考えてみました。悪口や暴力などから、いじめは始まるのではないかと思い、みんなのいいところを出し合って、いじめをなくしていきたいです。
- 9 私は、お友達に助けられたときもあるし、助けたこともあります。そんなお友達と仲よく元気に過ごしたいです。それに、けんかやいじめをしたくありません。1年生や2年生がいじめられてたら、助けたいと思います。いじめのないように、仲よく、元気に、明るく過ごしたいです。
- 10 小さい人にも大きい人にも言葉遣いを気を付けたり、自分から友達に声をかけたり、ふわふわ言葉をたくさん使うと、いじめゼロになって友達とも仲よくできると思います。
- 11 いやなことを言われたり、されたりしたら、相手の気持ちを考えながら、口で伝えることが大切だと思った。悪口などを言わないように、気を付けようと思った。(裏面あり)

- 12 一番心に残ったことは、「ならぬものはならぬ」と言うことです。いじめられたり、心が悲しくなったりすると、体にも異状が出るんだなと思いました。いじめはいじめている人も悲しくなるし、いじめられている人も悲しくなると思いました。
- 13 悪口や差別をされたらとても悲しいです。自分がやられたらいやなことをしなければ、いじめはなくなると思っています。
- 14 嫌いな人ではなく、苦手な人と思えばいいと思う。そうすれば、少しだけ友達に近づくかもしれないから。本とか読んでいけば、心が落ち着くと思う。
- 15 「ならぬことをやってはならぬ」が、心に残った。改めて、いじめはだめだと分かった。
- 16 公園とかに「死ね」と書かれていることがあるので、もし書いている人がいたら、すぐに「だめ」と言えるようにしたいです。これからは、陰口を言わず、悪口を言わず、努力していきたいです。
- 17 1年生のときいじめられてもくじけませんでした。学校でいじめにあって行きたくなかったら、いろんな先生に相談した方がいいです。
- 18 今日から行動して「什の掟」を思い出しながら思いやりを表す。「いじめはだめ」ってずっと思っていたけど、今日の話で「絶対にいじめはだめ」だともっと分かりました。また聞きたいし、この話で、九小や全国でいじめがなくなるようにしたいと思いました。
- 19 いじめをされた人は、学校に行きたくなくなったり、死ぬほど苦しいんだなと思いました。だからいじめは、絶対にしてはいけないと思いました。
- 20 いじめは、だめっていうことがよく分かった。友達の間接を変えようと思った。いじめを気を付けようと思った。一つ一つのことを考えようと思った。
- 21 思ったことは、もういじめをしないことです。特に、公共物に悪口を書かないことです。2～3回いじめのようなことをしたことはあるけど、この話を聞いて、もうしないと決めました。
- 22 「什の掟」を守ろうと思った。自分が言う前に考えて、気を付けようと思った。
- 23 ぼくは、いじめをしたことがあり、いじめをされたことがあります。もう、いじめやいやな発言を言いません。
- 24 いじめをしたら、いじめられた人が悲しむし、その親も悲しむと思います。いじめを絶対しないように気を付けて、いじめをしている人がいたら注意していきたいと思います。
- 25 知らない間に、人を傷つけているんだなと思った。だから、今度から意識するようになる。
- 26 もしいじめをしそうになったら、自分もいじめられたらどうする？と声をかけてあげる。怖くてできないなら、先生に言う。
- 27 一番いじめにつながるの、悪口だと分かった。陰口もそうだし、書くのも悪口だと分かった。相手がいやがることや悲しむことがいじめだと思った。
- 28 4月に言われたいじめは行けないと言うことを思い出しました。一年間の目標は、いじめはしてはいけない、という目標にします。
- 29 冗談でやったことがけんかにつながる場合があります。それで、悪口を言っちゃう場合があります。悪口を言いたくないんだけど、言っちゃうくせがあります。そんなくせを直したいです。
- 30 いじめは絶対にだめ。いじめをされている人の気持ちになって考えることが大切。いじめはだめということがわかるポスターを作ってみてはどうか？と思った。
- 31 いじめを見たり、聞いたり、やったりしたら正直に言う。いじめを必ずやらないと心がける。いじめをされた子がいたら、なるべく助けたい。
- 32 相手が傷つく言葉はいじめ。相手の気持ちを考えて、けんかをしない。悪口を言わない気持ちをもつ。